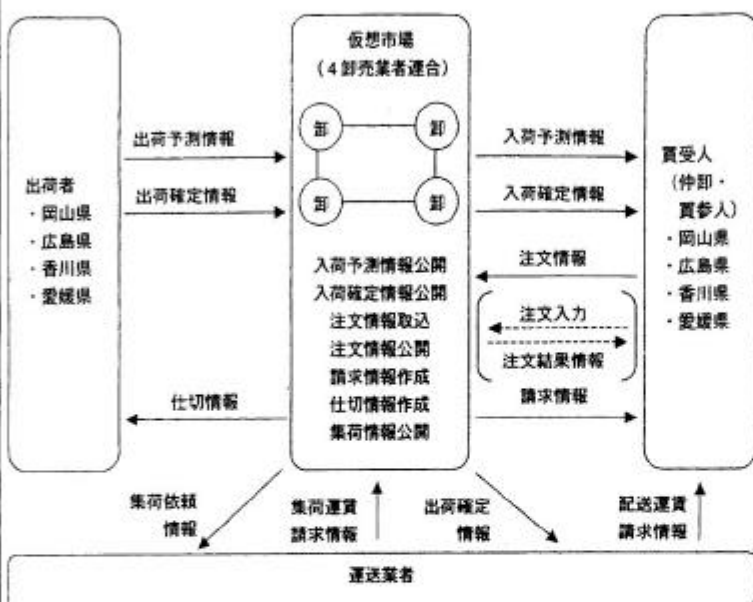


ビジネスモデルを創出できるか

(食品流通高度化プロジェクト事業・2つの実践例)

事業の全体イメージ図



花き初の

花き中四国コラボレーション

中国・四国4卸売業者の共同で、収穫だったの本格稼働に向けた出荷者や有ネットワークによる仮想市場システムの開発事業の実験、必要がある。事業に参画した各業者ごとの結果は以下のとおりである。

▽卸売業者①④卸売業者間の協業意識が向上し、新規の産地開拓や地方市場への活性化への道筋が見えたことも大きな成果である。

たの美証実験終了後の結果は、買参

取獲だったの本格稼働に向けた出荷者や買参人への啓蒙と協業を一層推進する必要がある。

▽買参人①事前の情報開示が卸売業者として実施できなかったことによる影響が大きい。その影響は出荷予測情報へのアクセス数として効果に現れる結果となった。

人の仕入れ計画(セリ)で購入するが、相対で事前に入文するが、運送費が下がったこと、仕入可能な商品の選択が広がったこと、非常には大きいとの評価があった。

▽出荷者①今回の美証事件で、出荷者場以外への販売が大きく見込めることが実証されたため、今後の出荷予測情報を発信するうえで、その手間に見合う対価を得られることが実証され、対象の出荷者が今後増加することが容易に推測される。

パイプをめぐってネット販売の美証実験が完了した。10社と買参人12業者、12の出荷業者が参画した。花きネット(花きネット)は、ネット販売情報システムを中心とした、中四国ネット専任サービスを提供する。2003年10月、ネット販売情報システムを構築し、2003年10月、ネット販売情報システムを中心とした、中四国ネット専任サービスを提供する。2003年10月、ネット販売情報システムを中心とした、中四国ネット専任サービスを提供する。

四社がNETで連携 逆流を防いで独自集荷



青山 勝彦 支店長

事業が取組まれた結果、美証実験開始後、広域の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。

美証実験終了後、買参人がネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。

キーマンズインタビュー

美証実験終了後、買参人がネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。四国の買参人に対し、ネット販売の普及を促す。